

8.

玉川 博将

TAMAGAWA HIROMASA

AGURUBITO'S Beautiful view!

絶景が見える畑の こだわり柑橘

OZU NO.
AGURUBITO

8.

玉川 博将

年齢／35歳 エリア／長浜（今坊） 販売先／JA、産直市（愛たい菜等）

作物／柑橘（温州みかん、甘平、不知火）、キウイフルーツ、柑橘ジュース



就農した理由

玉川家では、祖父と父が中心で柑橘を中心とした農業を営んでいました。学生の頃から手伝いはしていたのですが、祖父の体調が悪くなっていたことから、農業を継ぐことはなんとなく決めていました。高校卒業後は、柑橘栽培に関する新たな知識や技術を高めるため、愛媛県立農業大学校に進学し、さらにその後は果樹研究センター等で3年間勤務しました。

そして、平成23年に今坊に戻り、就農しました。平成27年には親から独立し、甘平などを新植して自身の経営を開始し、現在は親の農業も全て継承し、私と妻、母の3人で柑橘を約2ヘクタール、キウイフルーツを約0.6ヘクタールの農地で栽培しています。

機械、農地、施設はほぼそろっている状態なのですが、男手が足りないので将来的には農地を集約して、高単価の柑橘の品種を施設栽培でチャレンジしていきたいと思っています。



キウイの誘引



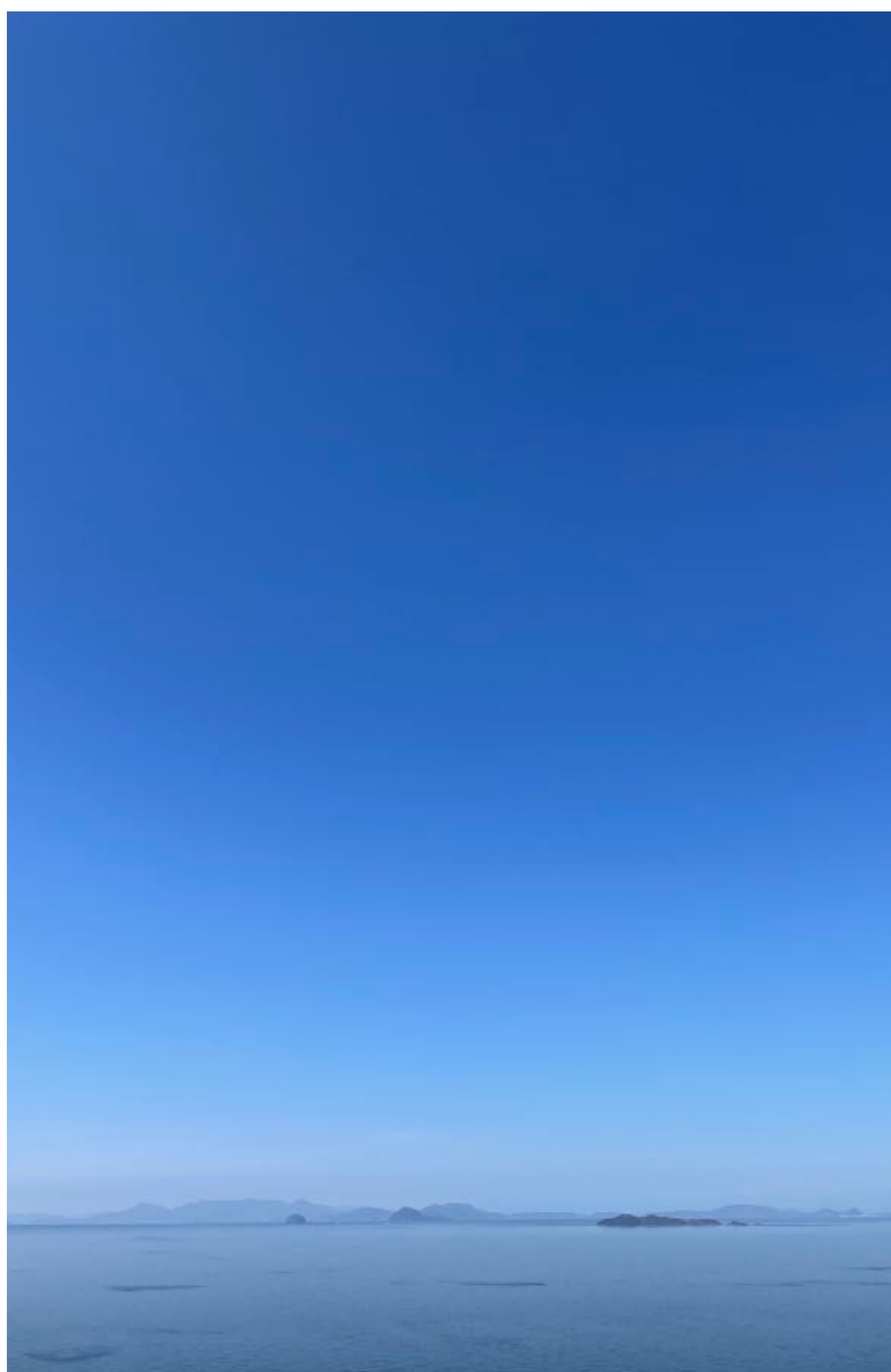
不知火の収穫



瀬戸内海に面した今坊での柑橘農業

今坊地域は、旧長浜町の瀬戸内海に面した急峻な斜面にある地域で、水捌けが良く、日当たりも良いので柑橘栽培に向いている地域です。さらに、**みかん畑からはとても穏やかできれいな瀬戸内海を見渡すことができます**。美しい景色が毎日見れるだけでなく、斜面を下りればすぐに趣味の釣りができるという立地です。最近はなかなか行けていませんが、アジングやイカ釣をたまに楽しんでいます。釣りたての新鮮な瀬戸内海の魚は本当に美味しいです。

また、玉川農園のこだわりは、地面にしっかりとマルチシートというシートを張って、糖度が増すようにしていることと、中晩柑に一つずつ袋をかけて大切に育てています。また、ハウスを用いない露地栽培であることから、何種類かに柑橘を分けて栽培しており、リスク管理と年間労働力の分散をしています。

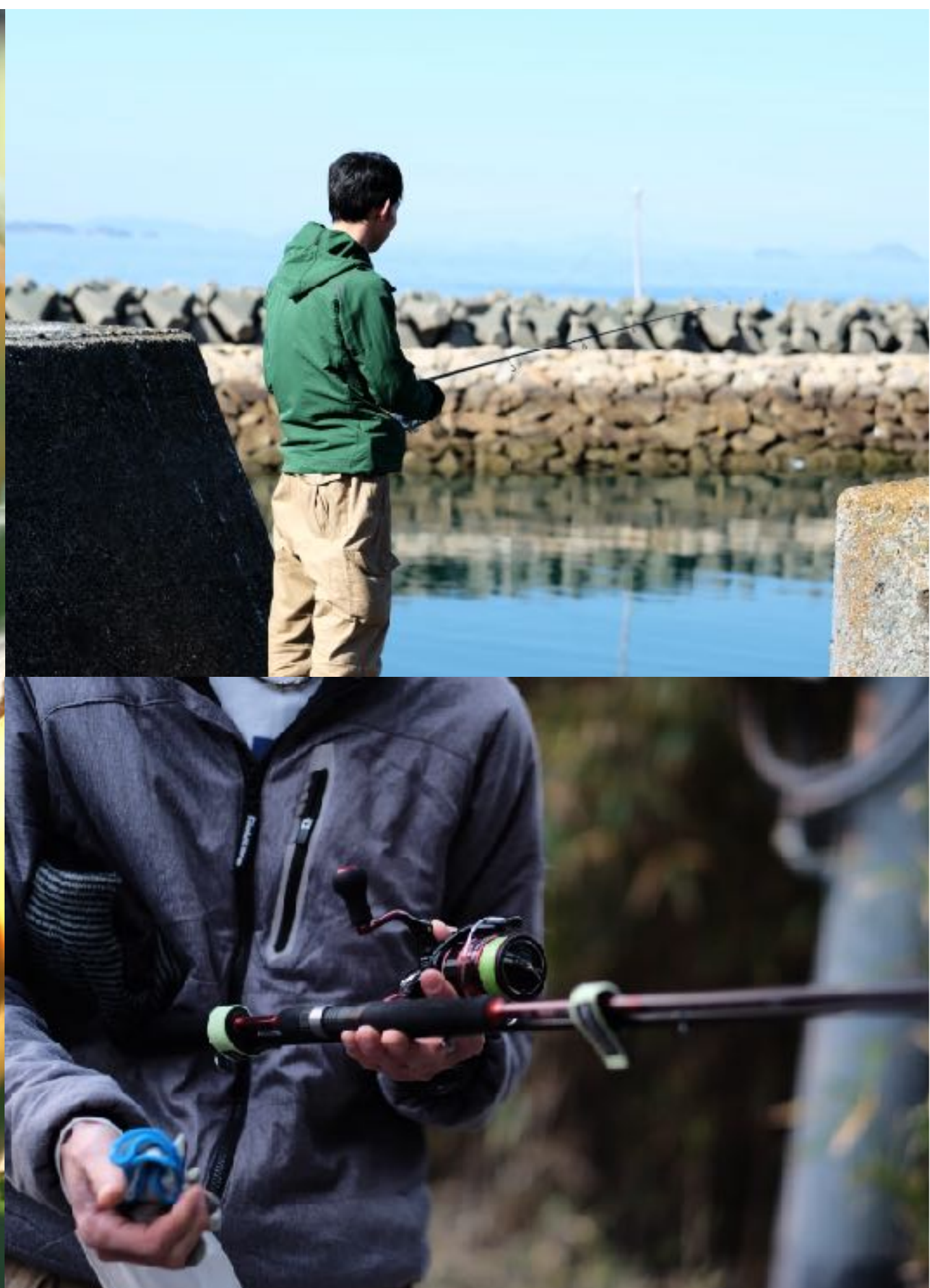


みかん畑から望む瀬戸内海

AGURUBITO'S Beautiful View!



不知火に被せている果実袋



玉川農園としてブランディング

柑橘やキウイは主にJAに出荷していますが、選果場に持って行った後は、自身が栽培したものがどれか分からなくなります。そのため、玉川農園オリジナルのものも作って販売したいと考え、地元のデザイナーにラベルデザインをしてもらい、出荷できない規格外などを用いて柑橘ジュース「たまちゃんちのみかんジュース」を作っています。さらに、新しいロゴも作成中で、出来次第インスタグラムで公開します。

収穫した不知火（デコポン）でジュースを製造し、4月中旬頃から販売予定です。お買い求めの方は、玉川農園のInstagramのDMか、LINE（Instagramのプロフィールからアクセス）でご連絡ください！

